

震災用シェルター
県内産木材で制作

キハタトレーディング

松阪市鎌田町の株式会社
キハタトレーディング(喜畑
隆之社長)がこのほど、
一般社団法人・日本ログ
ハウス協会の「ログシエ

出来上がった室内型シェル
ターと角谷さん鎌田町の
キハタトレーディングで



ルターの開発・普及」事
業として、県内産の木材
を使ったログハウス型の
震災対策用室内型シェル
ターを制作した。このシ
ェルターは、3月に伊勢
寺町の松阪農業公園ベル

ファームで展示する
予定。

これは、林野庁の
地域材実用化促進対
策事業の一環とし

て、同協会が制作し
たもので、同社の一
級建築士・角谷隆文
さん(53)が企画、
設計を担当した。

県内産の間伐材の
ヒノキを使ったもの
で、中の広さは9平方
メートル。重機を使わ
ずに木材を室内に運
び込んで組み上げ

る。室内に頑丈な部屋を
もう一つ設置する格好と
なり、地震で家屋が倒壊
しても、耐えられる構造
となっている。

角谷さんは、「安全で
木のぬくもりや香りを楽
しんでもらえるものにな
った」と話している。

このシェルターは、モ
デルとして東京などで一
般に披露されるほか、3
月にはベルファームへ貸
与されることになってい
る。